

キャラクター名  
小猫 (シャウマオ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー オルクス		ワークス	傭兵	カヴァー	FH(新人)
	オプション		年齢		性別	
覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率	35	%
出自	兄弟	経験	秘密	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	3	0	0			3	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報: 軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	11r+1	8	6+2d10		炎神+加護+CL+アニマル+剣 浸食値12
100超え	白兵	17r+1	7	7+2d10		炎神+加護+CL+アニマル+剣 浸食値12
80超え	白兵	15r+1	8	6+2d10		炎神+加護+CL+世界+アニマル+剣 侵食値18
100超え+世界	白兵	21r+1	7	7+2d10		炎神+加護+CL+世界+アニマル+剣 侵食値18

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
【対抗種】	P	N		
鈴	P 執着	N 嫉妬		
高山 S	P 幸福感	N 敵愾心		
×	P 好奇心	N 恐怖		
弟達	P 幸福感	N 劣等感		
ノアール ×	P 好奇心	N 不快感		
e-zyentoB ×	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
完全なる世界	3	6	Xジャー				100	
効果: 判定ダイスLV+1個 敵リアクションCL+1								
炎神の怒り	3	3	Xジャー					
効果: 判定ダイス+LV個 HP-3								
氷の回廊	1	2	マイナ					
効果: 飛行+戦闘移動 移動距離+2m								
フェニックスの翼	2	4	クリンアップ					
効果: HPLv×5回復								
炎の加護	3	2	Xジャー					
効果: 判定ダイス+LV個								
CL サラマンダー	2	2	Xジャー					
効果:								
妖精の手	3	4	オート					
効果: ダイス目を10に変更								
白熱	1	3	マイナー					
効果: 素手データ変更								
アニマルテイマー	3	3	Xジャーリアクション					
効果: 判定ダイスLV+1個								
形無き剣	1	2	めじゃー					
効果: ドッチダイス-Lv								
熱感知知覚	★							
効果:								
不燃体	★							
効果:								
猫の道	★							
効果:								

神出鬼没な中国系

出自やどう生きていたかの不明  
傭兵達の間では有名な人間 (出会ったら灰しか残らないやら、物騒な方面で)

サラマンダーの能力が80%ほどしめているので、ピュアに見えるが  
対抗種や自身の能力でよく吐血やらすことが多い(勝手に回復していくが)

年の離れた弟がいる

【子猫の過去】  
かなりの貧困層の出身、幼き頃から家族の家計の為にとも傭兵に志願  
初任務の帰り、家族全員が敵の部隊に無残に殺されていた  
とある任務で失敗し、仲間数人と逃亡、各地を転々としていた  
失敗した原因は、研究施設の護衛を無視し、研究材料である子供を解放したからである  
一時期、子供を引き取り育てていたが、ある日セーフハウスに帰ると仲間と子供の死屍で埋め尽くされていた  
生き残った子供たちを連れて日本に、その時に元の名を捨てた  
名前の由来は子供のころに見ていた絵本とシュレーディンガーの猫、「ここに入る俺は、姿はあれど俺でない」「大人になりきれない身勝手な俺」という意味合  
いでそう名乗っている  
本名は【猫詰十佳(ネコツメトオカ)】周りからは猫と呼ばれている  
過去の一件以来、【家族】【仲間】【同類】という言葉に敏感になりつつある

